

おいしい
と
ありがとう



地産地消



「食」=「生きる」



親子の
コミュニケーション

子どもが作る「ふくおか弁当の日」

福岡県・福岡県教育委員会

「ふくおか弁当の日」とは？

「弁当の日」の取組は、「食」の大切さを学ぶきっかけとなる取組です。

「食」は生きる上での基本であり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得させることが求められます。

福岡県では、児童生徒が健全な食生活を実現し、心身の健康増進と豊かな人間関係を育むことができるように、農林水産部・教育委員会が相互に連携を図りながら、「弁当の日」の取組を推進します。

本年度から、子どもが作る「ふくおか弁当の日」と銘打ち、県内各地域の農林水産物の活用や、各学校の特色を生かした、福岡県ならではの「弁当の日」の普及・拡大に取り組んでいきます。

「ふくおか弁当の日」の効果

「ふくおか弁当の日」は、次のような教育的効果が期待できます。

- 食事を作ることの楽しさや達成感を味わうことができる。
 - ・献立、買い物、調理、後片付けまでの一連(その一部)の流れを体験する。
- 保護者をはじめとする食生活に関わる人や物などに対する感謝の心を育てる。
 - ・食に関する「ひと、もの、こと」(食事、生産者、家族等)を意識する。
- 家族間のコミュニケーションが深まり、家族における食に関する意識が高まる。
 - ・食事の重要性を理解し、望ましい食習慣を形成しようと努力する。
- 地産地消の大切さを学ぶことができる。
 - ・福岡県の農林水産物に触れることで、食材の旬を知ることができ、福岡県の農林水産業への理解が深まる。